

2020 年度 事業報告

社会福祉法人 バプテスト心身障害児（者）を守る会
理事長 宮崎信義

1. 2020 年度年間主題 「重症児（者）支援の向上～電子カルテ・次期システムの活用」 開園祭テーマ「重症児（者）医療福祉計画の刷新と向上を目指して」

2. 2020 年度の事業計画（総論）

(1) 2020 年度に向けての事業計画と展望

- ・「在宅支援センター」の運営：更なる深化。
- ・社会貢献：粕屋 6 町を基盤とした福祉社会作りの拠点として。コーディネータ育成への協力。
- ・通常会計・予算規模の合理的な運用を。
献金等の収入は将来計画（重症児者医療福祉の向上等）に優先的に活用したい。

(2) 次世代を担うに足る人材活用と育成

- ・法人の役割：創立理念の継承と施設運営を支える機能。
- ・センター及び各部署の人材活用と育成：管理職を担える中堅層の育成と新任職員教育。

(3) 「在宅支援プロジェクト」の継続

第 1 段階：2009 年度～2015 年度（施設全面改築から在宅支援センターの開設）

第 2 段階：2016 年度～2020 年度（在宅支援センターの拡充と新たな事業展開）

- ・在宅支援棟関連事業も「重症者ホームひさやま」の運営も途上にあることの認識を。
ホームから起案されている「日中サービス支援型」への移行計画。
- ・在宅支援センターの整備と深化：利用者個々人と総利用件数の推定～必要人員の確保。

第 3 段階：2021 年度～2025 年度（重症児者の家族と共なるコミュニティ形成の可能性）

- ①経営努力と支援者献金の蓄積の結果である（社会福祉充実残額）の活用。
- ②久山療育園重症児者医療療育センターを核とした福祉計画。
- ③「重症者ホーム」に続く「要介護家族ホーム」計画。---- 中長期的将来計画として
- ④センター部分の借地（9,237 m²≒2,800 坪）の取得：「久原財産区」と交渉継続中。

(4) 次期システム～電子カルテへの移行：2020 年 7 月稼働

- ・医療療育情報の共有、地域連携。職員が本来の業務に専念できる時間の確保。
- ・地域社会との繋がり、情報の取得。

(5) 今後の将来計画の策定

- ・障がい福祉の充実：入所及び在宅重症児（者）とご家族の必要に聴き続けることを中長期計画の中心に位置づける。開園祭・ボランティア講習会での保護者の声を聴く、保護者役員会での対話。

(6) 2020 年度（令和 2 年度）診療報酬改定：（本体）+0.55%

注）但しその内 0.08%は救急医療対応分→実質+0.47%